



## KONA Award 2025 授賞式ならびに記念講演を大阪で開催

【日時】 令和8年（2026年）5月13日（水）16時45分～17時45分

【場所】 グランキューブ大阪（〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島）

【主催】 公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団

【後援】 一般社団法人 粉体工学会

令和8年5月13日(水)に、世界粉体工学会議「WCPT10（10th World Congress on Particle Technology）」期間中に、グランキューブ大阪において、KONA 賞授賞式ならびに記念講演を開催いたしました。

WCPTは、1986年に開始された粉体工学分野を代表する国際会議であり、4年ごとに開催されています。第10回となる今回は大阪で開催され、世界各国より多数の研究者、技術者、企業関係者が参加しました。会期中は、粉体工学に関する最先端の研究成果や技術開発について、活発な議論と交流が行われました。

今回の KONA 賞授賞式および記念講演にも、国内外から多くの研究者が来場し、会場は高い関心と期待に満ちた雰囲気となりました。

式典では冒頭、当財団 常務理事の内藤牧男より、財団設立の経緯ならびに事業内容について紹介が行われました。

当財団は、粉体工学に関する学術振興と国際交流の促進を目的として設立され、研究助成、KONA 賞、講演討論会開催支援、国際交流援助など、多岐にわたる事業を継続的に実施しています。また、学術誌「KONA



開会式



KONA 賞贈呈式にて  
(細川理事長と2025年度KONA賞受賞者  
Prof. Arno KWADE)



記念講演

「Powder and Particle Journal」の発刊を通じ、長年にわたり粉体工学分野の学術情報発信にも貢献してきました。特に KONA 賞は、粉体工学分野において優れた研究業績を挙げ、国際的に顕著な貢献を果たした研究者を顕彰するものであり、世界的にも高い評価を受けています。

続いて、当財団 理事長の細川悦男より、2025 年度 KONA 賞受賞者であるドイツ・ブラウンシュヴァイク工科大学の Prof. Arno Kwade へ記念の楯が授与されました。授賞に際しては、会場に集まった参加者から盛大な拍手が送られ、受賞を祝福する和やかな雰囲気になりました。

Kwade 教授は、粉砕、混合、圧密化などの粉体プロセス工学分野に関する研究を長年にわたり推進されており、特に電池材料および医薬品製造プロセスに関する研究において、国際的に高く評価されています。

授賞式に続いて行われた記念講演では、「Comminution, mixing and compaction of particulate materials: Important process-structure-property functions for the production of battery electrodes and solid drug products」と題し、電池電極材料および固形医薬品製造における粉体プロセスの重要性について講演が行われました。講演では、一見異なる分野である電池材料と医薬品製造においても、粉砕、粒子形状制御、混合、造粒、圧密化といったプロセスに多くの共通点が存在することが紹介されました。また、各工程における粒子への応力制御が、製品性能や品質、生産性、さらにはエネルギー効率に大きく影響することについて、最新の研究成果を交えながら詳しく説明されました。

今回の KONA 賞授賞式および記念講演は、粉体工学分野における最新研究の共有と国際交流を深める貴重な機会となりました。当財団では、今後も粉体工学の発展と国際的な学術交流の推進に寄与すべく、各種事業を継続してまいります。



記念講演の会場風景



参加者記念撮影